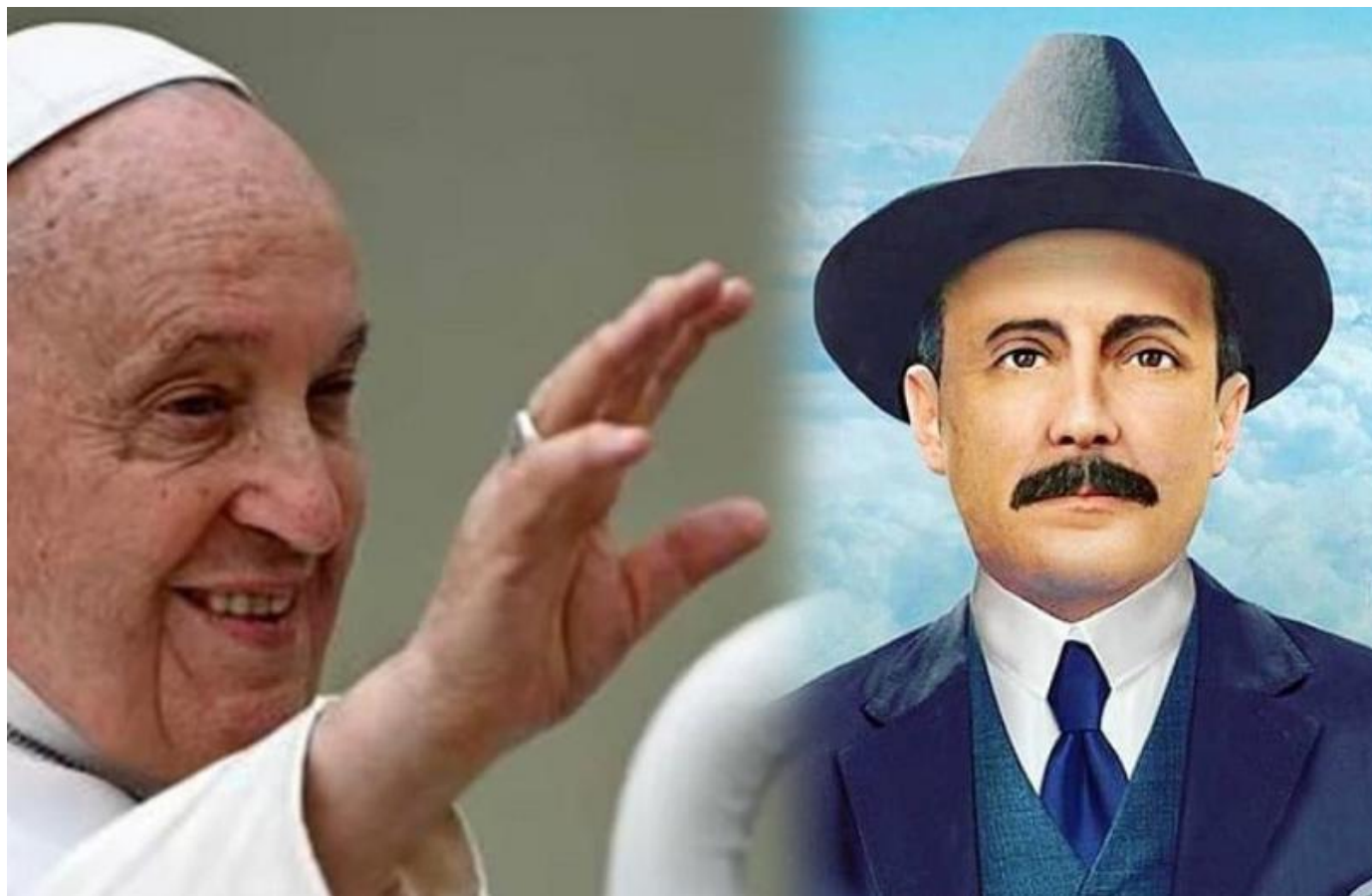




（写真）ベネズエラ情報通信省 “ローマ法王 ベネズエラ人医師 José Gregorio Hernández の列聖を承認”

2025年2月24日（月曜）

政治

「[チリ 近日中に Ojeda 氏殺害事件を CPI に訴え](#)」

「[墨から242人のベネズエラ不法移民が送還](#)」

経済

「[Conindustria 24年Q4給料アンケート結果
～一般作業員の平均給料は月額230ドル～](#)」

「[GWM ベネズエラで自動車販売を開始](#)」

「[GOLD RESERVE 11億ドルの未収金回収模索](#)」

「[カタール企業 マルガリータで観光投資を検討](#)」

社会

「[ベネズエラ人 タンパク質摂取の65%は鶏](#)」

2025年2月25日（火曜）

政治

「[PJ 委員会の多数決で選挙不参加が決定
～126人中108人が選挙不参加を支持～](#)」

「[米国 トランプ大統領はマドゥロ政権に反対](#)」

経済

「[Crixto デジタル通貨での決済アプリ運用開始](#)」

「[2024年グラフィック産業 前年より好調](#)」

「[2024年 コメ作付面積が30%増](#)」

「[ベネズエラ人 魚の消費量は年間17キロ](#)」

社会

「[ローマ法王 ベネズエラ人医師の列聖を承認](#)」

2025年2月24日（月曜）

政治

「チリ 近日中に Ojeda 氏殺害事件を CPI に訴え」

2月24日 チリの Carolina Tohá 内務相は「オランダに本部を置く国際刑事裁判所（CPI）に対して、Ronald Ojeda Moreno 氏の誘拐殺害事件を訴える」と発表した。

Ronald Ojeda Moreno 氏は、2017年にマドゥロ政権から離反し、チリに亡命したベネズエラ元軍人。しかし、2024年2月に亡命先のチリで誘拐・殺害された（[「ウィークリーレポート No.345」](#)）。

Ojeda 氏を殺害したのはベネズエラ系マフィア「Tren de Aragua」の構成員だが、この事件にはマドゥロ政権、特にディオスダード・カベジョ内務司法相が関与している可能性が報じられている。

Ojeda 氏は、チリ亡命後もマドゥロ政権の転覆計画に加担しており、カベジョ内務司法相がその計画を妨害するために「Tren de Aragua」に Ojeda 氏誘拐の指示を出し、最終的に殺害されてしまったという説がある。

一方で、Ojeda 氏はチリ亡命後もマドゥロ政権の転覆計画に加担しており、その計画を遂行する上で、協力関係にあった「Tren de Aragua」の構成員と仲たがいを起こし殺害された可能性も指摘されている。

なお、チリ政府は Ojeda 氏の活動を認識しながら、コロンビアへの越境を許可するなど Ojeda 氏によるマドゥロ政権転覆計画を実質的に支援していたとの指摘もある。

また、Ojeda 氏の家族は、「チリ政府がマドゥロ政権に対して Ojeda 氏の所在を連絡したため、Ojeda 氏が誘拐された」という可能性を指摘しており、事実関係の調査を求めている。

なお、正式な発表ではないものの、殺害される数カ月前から Ojeda 氏の口座に多額の振り込みが複数あったと報じられている。

Ojeda 氏がマドゥロ政権転覆計画に加担していた可能性は高く、経緯は不明だが、その活動に関連して殺害されたと考えられている。

本件について、大きな進展があったのは2025年1月22日。チリの治安維持部隊は、同国にある「Tren de Aragua」の拠点を攻撃するオペレーションを実施。

現地メディアは、「拘束されたメンバーのうちの6人が、ベネズエラのディオスダード・カベジョ内務司法相に Ojeda 氏の殺害を依頼されたと証言している」と報じた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1169」](#)）。

これを受けて、チリの Carolina Tohá 内務相は、「カベジョ内務司法相が Ojeda 氏殺害に関与していたとする証拠が出てきた場合は、国際司法裁判所にカベジョ内務司法相を提訴する」と述べていたが、この発言から約1カ月が経過した2月24日、Tohá 内務相は CPI に本件を提訴する意思を正式に表明した。

ただし、Tohá 内務相は

「現時点で調査は完了していないが、調査が未完了の段階から CPI に本件の情報共有を行う」と説明しており、現時点でカベジョ内務司法相が Ojeda 氏殺害に関与していたとする証拠まではつかめていないのかもしれない。

「墨から242人のベネズエラ不法移民が送還」

2月24日 ディオスダード・カベジョ内務司法相は、「メキシコから242人のベネズエラ移民を送還した」と発表した。

カベジョ内務司法相によると、今回メキシコから送還されたベネズエラ移民は、米国からメキシコに送還されたベネズエラ不法移民あるいは米国に越境しようとしたが越境できずメキシコに滞留していたベネズエラ移民だという。

なお、これまで米国から送還された不法移民は全て男性だったが、今回送還された移民の中には女性・子供が含まれていたという。

送還された未成年の中には、18歳の男の子がおり、彼は外国で生まれたが出生届を出しておらず、身分証明を一切していなかったという。恐らく両親がベネズエラ不法移民だったので、一緒にベネズエラへ送還されることになったと思われる。

経 済

「Conindustria 24年Q4給料アンケート結果 ～一般作業員の平均給料は月額230ドル～」

「ベネズエラ工業生産者団体（Conindustria）」は、加盟企業を対象にした給料アンケートの結果（2024年第4四半期）を公表した。

同調査では「一般作業員」「専門職」「管理職」で給料を分けている。

同調査によると、「一般作業員」は平均月額230ドル。

「専門職」は同460ドル。

「管理職」は同1048ドルだった。

また、給料は企業規模によって異なる。

「大企業」に分類される企業の場合、

「一般作業員」は月額293ドル。

「専門職」は同586ドル。

「管理職」は同1310ドル。

「中堅企業」に分類される企業の場合、

「一般作業員」は月額230ドル。

「専門職」は同488ドル。

「管理職」は同1204ドル。

「小規模企業」に分類される企業の場合、

「一般作業員」は月額209ドル。

「専門職」は同412ドル。

「管理職」は同919ドル。



（写真）Conindustria

他、従業員数の増減について「変わっていない」との回答が最も多く50%。「人員を削減した」との回答は10%だった。

「新たに雇用した」との回答が40%あったが、その多くは人員の入れ替えであり、「トータルの人員が増えた」と回答した企業は7%にとどまったという。

「GWM ベネズエラで自動車販売を開始」

現地経済系メディア「Bancaynegocios」は、中国河北省を拠点とする自動車メーカー「長城汽車（Great Wall Motor（GWM）」がベネズエラで自動車販売を開始すると報じた。

報道によると GWM は SUV 車（スポーツやレジャーに適した装備を持った利便性の高い車両）やピックアップ車、オフロード車の定評が高いという。

ベネズエラで販売されるのは SUV タイプの「Jolion」「H6」「H6GT」。オフロードタイプの「Tank 300」「Tank 500」、他ピックアップタイプの「WINGLE5」（下写真）などが販売される予定だという。



（写真）Bancaynegocios

「GOLD RESERVE 11億ドルの未収金回収模索」

カナダの金開発会社「GOLD RESERVE」は、ポルトガルで故チャベス政権に接収された金鉱区の接収賠償金11億ドルの回収を試みている。

2月24日 ポルトガルのリスボン裁判所は GOLD RESERVE が11億ドルの賠償金回収のために訴訟を起こすことを許可した。

今回の決定を受けて、GOLD RESERVE の株価は1.5%上昇したという。

ロイター通信によると、GOLD RESERVE の関係者は「様々な懸念点があり、ポルトガルでの合法的な差し押さえ手続きはまだ確かではない」「資金回収のためには今後も複数の司法による判決が必要になる」と説明しているという。

「カタール企業 マルガリータで観光投資を検討」

Leticia Gómez 観光相は、

「カリブ地域の観光促進のために複数のカタール企業がマルガリータ島を訪問した」

「ヌエバエスパルタ州のマルガリータ島が主要な訪問先である」「（カタール企業家は）この島の魅力と投資可能性について感じる事ができるだろう」と発表した。

正確な日程は決まっていないが、2025年からベネズエラ（カラカス）ーカタール（ドーハ）便の運航が開始される予定となっている。

ベネズエラは観光産業の促進を目指しており、路線開通を機にカタール人観光客の増加を目指しているようだ。



（写真）情報通信省

社 会

「ベネズエラ人 タンパク質摂取の65%は鶏」

「ベネズエラ全国養鶏連合会（Fenavi）」の Francisco Tagliapietra 代表は、現在はベネズエラの鶏肉・鶏卵は100%国産であると説明。

ベネズエラ人の鶏肉摂取量（平均）は年間22キロで、タンパク質摂取手段の65%は鶏肉あるいは鶏卵であるとコメントした。

また、2024年の鶏肉消費量は65トンで、前年から15%増えたとした。

鶏卵についても生産量は増加している。

Tagliapietra 代表によると、2024年のベネズエラ人の鶏卵消費量は年間約160個。前年から36%増の1250万の鶏卵セットを生産したという。

2025年2月25日（火曜）

政 治

「PJ 委員会の多数決で選挙不参加が決定 ～126人中108人が選挙不参加を支持～」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1182](#)」で紹介した通り、主要野党の一角である「第一正義党（PJ）」は5月25日に予定されている選挙への参加是非に関して政党内で衝突している。

本件を受けて、PJの「全国政治委員会」は委員会メンバーで投票を実施。

その結果、126人中108人が「民主主義の約束と野党の団結を肯定し、2024年7月28日の国民の信託を守る」ことに賛成したという。

つまり、PJ として5月25日の選挙に参加しないことが改めて決定したことになる。

PJ は声明文の中で以下の3点について言及している。

1. PJ は、7月28日の大統領選でエドムンド・ゴンサレス氏が大統領に選ばれた結果を守る政治的ルートを変更して肯定する。民意は必ず尊重されなければならない。PJ は引き続きこの決定を現実にするために戦う。
2. PJ は、マリア・コリナ・マチャド氏、エドムンド・ゴンサレス氏、統一プラットフォームが決定した団結の方針を肯定する。民主的な条件が整っていないことを理由に PJ は2025年5月25日のイベントに参加しない。
3. 全ての政治犯の即時解放を要求する。同時に政治犯の解放を要求するためのあらゆる活動を支持する。PJ は、政治的な迫害、人権侵害を受けた全ての人々に連帯の意思を示す。



PRIMERO JUSTICIA

COMUNICADO

CON LA VOTACIÓN APROBATORIA DEL 85% DE LOS PARTICIPANTES DEL COMITÉ POLÍTICO NACIONAL, PRIMERO JUSTICIA DECIDE NO PARTICIPACIÓN EN EL FRAUDE CONVOCADO POR MADURO

El Comité Político Nacional (CPN) de Primero Justicia, con un quórum de 126 miembros, ha aprobado por 108 votos a favor la siguiente resolución:

1. Reafirmar el compromiso con la Ruta Política en defensa de los resultados del 28 de julio, en los cuales Edmundo González Urrutia fue electo Presidente de la República. La voluntad popular debe ser respetada y el partido continuará luchando para que se haga efectiva.
2. Ratificar que las decisiones unitarias se adoptan en conjunto entre la Plataforma Unitaria Democrática, Edmundo González Urrutia y María Corina Machado. En consecuencia, y como expresión de respaldo a la unidad, así como de protesta ante la falta de condiciones democráticas, Primero Justicia no participará en el evento convocado por Nicolás Maduro para el 25 de mayo de 2025.
3. Exigir la liberación inmediata de todos los presos políticos y respaldar cualquier decisión que ellos tomen en su lucha por la libertad. Primero Justicia reitera su solidaridad con quienes han sido perseguidos por razones políticas y reafirma su compromiso con la justicia y los derechos humanos en Venezuela.

Primero Justicia continuará trabajando para que la voluntad del pueblo venezolano se respete y para consolidar una transición democrática real en el país.

Primero Justicia

「米国 トランプ大統領はマドゥロ政権に反対」

2月25日 米国ホワイトハウスの Karoline Leavitt 秘書官は記者会見を実施。

同記者会見にて、記者から Richard Grenell 特使のコメント（トランプ大統領はベネズエラの政権交代を模索していない）について質問を受けると、

「（トランプ大統領は）ベネズエラについて明確なスタンスを執っている」「彼はマドゥロ政権に反対している」「マルコ・ルビオ国務長官もこの方針について言及している」と回答した。

2月22日 Grenell 特使は「The Epoc Times」のインタビューで「トランプ大統領は、ベネズエラで政権交代を引き起こす意思はない」とコメントしていた（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1182](#)」）。

経 済

「Crixto デジタル通貨での決済アプリ運用開始」

ベネズエラは慢性的なインフレ国であり、特にインフレが激しかった2018年～21年頃はボリバル通貨が通貨としてまともに機能しない状況が続いた。

そのような背景もあり、資金をデジタル通貨で保有する国民が増えたため、ベネズエラ人のデジタル通貨保有率は他国より高いとされている。

このデジタル通貨をスーパーマーケット、薬局などで決済手段として使用するためのアプリ「Crixto Pay」というアプリケーションの運用が始まった。

同アプリを開発したのは「Crixto Venezuela, C. A.」という会社。

ベネズエラで比較的浸透しているデジタル通貨「USDT」（価値がドルに連動しているデジタル通貨）により決済が可能なアプリケーションで、ベネズエラ国内で合法的に使用することが可能だという。

「[ウィークリーレポート No.394](#)」にて、ベネズエラのベンチャービジネスの状況について紹介したが、その中でも最新のテクノロジーを使用した決済関連の支援サービスが伸びていると紹介した。今回の「Crixto Pay」も同様の趣旨のサービスということになるだろう。



crixto
**INTERCAMBIA
 AL INSTANTE
 DE CRIPTOS
 A BOLÍVARES
 Y PAGA TODAS
 TUS COMPRAS
 EN VENEZUELA**
 Visita www.crixto.com
USA: CRIXTO PAY
 DISPONIBLE EN App Store | DISPONIBLE EN Google Play

（写真）@CrixtoPay

「2024年グラフィック産業 前年より好調」

「ベネズエラグラフィック美術連合会（AIAG）」の Atilio Granone 代表は、ラジオのインタビュー番組に出演。

2024年のグラフィック産業について、製品パッケージの印刷発注が増加したため前年より好調だったとの見解を示した。

季節的な要因もあるが、2024年第4四半期は特に好調だったという。また、25年に入っても好調は続いており、今後にもポジティブな見通しを示している。

ただし、業界の工場稼働率は30%にとどまっており、10年前のような水準には遠く及ばないという。

また、過度な税金と納税手続きに苦慮しており、税制変更の必要性について訴えた。

「2024年 コメ作付面積が30%増」

「ベネズエラ・コメ生産者連合会（Fevearroz）」の José Luis Pérez 代表は、2024年のコメの作付面積は12.3万ヘクタール（冬季が6.3万ヘクタール、夏季が6万ヘクタール）で、前年から29.47%増えたと述べた。

ただし、2024年の生産目標だった16万ヘクタールを達成することは出来なかったという。

なお、Pérez 代表によると、作付面積が16万ヘクタールになった場合、理論上ベネズエラのコメの自給率はほぼ100%になるようだ。

なお、現在の作付面積（12.3万ヘクタール）だとコメの自給率は68%だという。

「ベネズエラ人 魚の消費量は年間17キロ」

Miguel Rodríguez 漁業養殖相は、現在のベネズエラ人の魚介類の年間消費量について1人当たり17キロと述べた。

Rodríguez 漁業養殖相によると、「ベネズエラ人の魚介類の消費量は他国と比較して少なく、毎日食卓に上る食材ではない」という。

なお、ベネズエラ人はエビやタコを食べる文化は浸透しておらず、経済的な理由もありイワシ、サバを比較的多く食べるという。

社 会

「ローマ法王 ベネズエラ人医師の列聖を承認」

2月25日 バチカンでは、ローマ法王が正式にベネズエラ人医師 José Gregorio Hernández の列聖を承認したと発表した。

列聖とは、「キリスト教において信仰の模範となるにふさわしい信者を聖人の地位にあげること」を指す。

列聖は非常に狭き門で、本当に聖人になるにふさわしい人物が長い年月をかけて調査・検討が行われる。

1949年にキリスト教は José Gregorio Hernández 氏の列聖について検討を開始し、76年の期間をかけて承認されたことになる。

なお、ベネズエラ人で列聖するのは José Gregorio Hernández が初めてだという。

José Gregorio Hernández は、19世紀後半に活躍したベネズエラ人医師。難病患者の治療に尽力したベネズエラ人医師であり、ベネズエラでは実質的に神聖化されている人物である。

マドゥロ大統領は「歴史的な偉業」とコメント。José Gregorio Hernández 氏の列聖を承認し、ベネズエラ人の倫理観を肯定したローマ法王に感謝の意を表した。

以上